

第2期函南町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)パブリック・コメント実施結果

意見募集期間: 令和2年2月21日(金)から令和2年3月22日(土)まで

No.	該当ページ	ご意見・ご要望の該当箇所	ご意見内容または理由等	ご意見に対する考え方
1	30	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標3「若者が住みやすく、子育てしやすい環境の充実と、誰もが活躍できる地域社会をつくる」 ・基本方針3「「生きる力」を育む質の高い教育環境をつくる」 ・主な取組 4) 学校施設の大規模改修の推進 	<p>29ページの【基本方針3】において「学校施設、設備の充実による安心・安全と、学校現場における複雑化・多様化する課題への対応や、ICTの活用をはじめとした多様な学びに対応できる教育環境をつくります。」と記載があることに関連し、その【主な取組】として1)～6)が掲げられています。</p> <p>この【主な取組】の中で、学習環境に関連するICTや外国語の整備が記載されていますが、近年の生活様式の変化による社会的ニーズを踏まえると、トイレ整備(乾式化・洋式化など)が喫緊の課題であると考えます。</p> <p>学校教育において、快適であることが必ずしも最適であるとは限りませんが、トイレ整備が不十分な学校へ通う子どもたちの多くが「トイレが汚い」、「洋式が少ない」、「学校でトイレに行きたくないから我慢している」など、ストレスを抱えている現況を考慮すると、その改善に向けた取り組みは質の高い教育環境をつくる上でも大切なことであると認識しています。</p> <p>30ページ「4)大規模改修」にあわせてトイレ整備を行うことがより効率的であることは理解できます。しかしながら、大規模改修の実施には多額の経費を要するため、函南町において3年に1～2つの校舎程度しか実施できない状況を考えると、現在、トイレが未整備の校舎が大規模改修にあわせて整備されるのは数十年後になることが想定されます。直近で大規模改修が予定されている、または、既に整備が完了している校舎は問題ありませんが、そのほかの校舎においては学校間の格差を可能な限り縮小するためにも速やかにトイレ整備に着手する必要があります。</p> <p>第六次函南町総合計画においては、学校教育における主な取り組みとして教育環境の整備が掲げられています。また、県内市町の多くは、子どもたちにとってトイレは重要なものであることを認識し、学校間で格差が生じることなく、速やかにその環境が改善されるようトイレ整備に特化した事業を展開しています。</p> <p>以上を主な理由として、函南町の学校施設全体でトイレ整備を推進し、本総合戦略(案)において、その指針や計画など明確なビジョンを示すことを要望します。</p>	<p>町内の小・中学校のトイレ洋式化の整備が進んでいない西小学校、東中学校については、大規模改修とは別に検討を進めており、西小学校については令和2年度に工事を行う予定としております。東中学校については、令和3年度以降早期に検討したいと考えております。</p> <p>また、トイレの洋式化については、第六次総合計画にも掲げられており、重要な事業であると認識しておりますので、総合戦略の主な取組の内容に追記して今後とも順次進めてまいりたいと考えております。</p>